

令和4年度事業報告 総括

新型コロナウイルス感染症の拡大、長期化でマスク生活が当たり前となり、地域での活動も延期や自粛を求められ支え合いの基盤に大きな影響をもたらしました。また、生活様式や働き方の変化により、社会的孤立や生活困窮者が増加し福祉課題の深刻さが増しています。

そのような中、当会では町が策定する「第3期美郷町地域福祉計画」と基本理念である「みんなで支え合い よろこびあふれ湧くまち」を共有した「第4期美郷町地域福祉活動計画」を策定し、これらの課題を総合的に受け止め、町民がコロナ前の生活を取り戻す努力に寄り添いながら、他機関多職種と一体となり、必要な活動やサービス提供ができるよう感染予防を徹底しながら「ネットワーク活動推進事業」「ボランティア活動推進事業」「子育て世代への新たな支援活動」「社会福祉法人地域公益活動推進事業」「介護保険事業・障がい支援事業」等を中心に積極的に事業の推進を図りました。また、町と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結し災害が発生した場合には被害状況を含めボランティア活動を行うために必要な情報を速やかに共有・協力体制を整えました。

1. 地域福祉活動計画の推進

情勢の変化に応じて新型コロナウイルス感染症対策を常に見直し、安全を第1とした対応で『みんなで支え合い よろこびあふれ湧くまち』を目指し、3つの基本目標により事業を展開しました。

基本目標1 「地域福祉の推進体制づくり」

- 誰もが安心して生活できる地域共生社会の実現を目指し、民生児童委員や地域住民、関係機関と協力し地域見守りネットワーク活動による一人の不幸も見逃さない運動を推進しました。

高齢者世帯等の見守りの強化として「配食サービス事業」の配達時の見守りを中心としたサービスを行い、調理業者と利用者の声を共有しきめ細かな対応を心がけました。

町内の社会福祉法人連携による新たな支援の在り方を検討、地域における課題について包括的な支援体制の構築に努めました。

取り組み事業：ネットワーク活動推進事業、ふれあい安心電話事業、配食サービス事業
総合相談事業

- 生活困窮や認知症、障がい、虐待など支援を必要とする方が制度やサービスを知らずに利用できないということがないように、民生児童委員や地域住民、関係機関と協働し支援体制を強化しました。

フードドライブを活用した食糧の緊急一時支援の充実を図るため、町内の社会福祉法人施設に常設のフードドライブボックスを設置しました。

取り組み事業：資金貸付事業、日常生活自立支援事業、ネットワーク活動推進事業（緊急一時支援）

基本目標2「安心して生活できる環境づくり」

- 高齢者・困りごとがある方・病気や障害を持っている方やその介護者等、誰もが住み続けることのできる地域をめざして、福祉サービスの適切な利用ができる体制づくりを進めました。

認知症カフェ「オレンジせんはた堂」を定期的に開催し誰もが気軽に認知症について話し合える場づくりを行いました。

みさと福祉センターは、災害時には避難場所やボランティアセンターとしての役割を担っていることから、いつでも安全に「みさと福祉センター」を利用できるように適宜点検と修理を行い設備管理をしました。

介護保険等サービス事業は運営状況が厳しい実情にありますが、介護保険の基本理念である「利用者本位」を実現することが社会福祉協議会としての大切な役割と考え、サービスの提供に努めました。

取り組み事業：在宅介護支援センター（千畑地区）、生活支援コーディネータ事業、ネットワーク活動推進事業（認知症 SOS）、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、障がい者福祉事業、相談支援事業（障がい者、障がい児）、介護用品支給事業、総合相談事業（若者の居場所）、みさと福祉センター管理運営、老人福祉センター雁が音苑事業、移送サービス事業

- 子どもの幸せの実現に向けて、子育てと育児の悩み、子供の貧困、ヤングケアラーなどの対策を支援し次代を担う子供と子育て世代への対応を推進しました。

ボランティア団体居場所づくりサポート心結び、「ほとり食堂」の活動に協力、他機関との連携調整を図りながら子供や大人が気軽に立ち寄れる地域の居場所づくりを支援しました。

取り組み事業：地域子育て応援事業

- 健康で生きがいをもって暮らせる地域となるように、住民一人ひとりの心身の健康づくりを進めました。

取り組み事業：在宅介護支援センター（千畑地区）、地域住民グループ支援事業、生きがい活動支援通所事業、まめだ屋運営事業、総合相談事業（メンタルヘルス）

- 地域住民が安心して日常生活を継続できるように、町と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結し災害が発生した場合には被害状況を含めボランティア活動を行うために必要な情報を速やかに共有・協力体制を整えました。

取り組み事業：ボランティアセンター事業、罹災世帯等法外援護事

基本目標3「地域福祉を支えるひとづくり」

- 一人ひとりが地域福祉に関心を持ち活動できるようにわかりやすい情報提供で福祉の啓発に努め、また気軽に意見交換できる場を提供し地域の声を福祉活動に反映しました。

取り組み事業：社会福祉大会、福祉教育活動推進事業、広報活動推進事業、福祉座談会

- 地域全体に主体的な福祉活動が広がるように、地域住民の福祉活動への参加を促進し共に支え合う地域づくりを進めました。

取り組み事業：除排雪活動事業、トータルケア推進事業、ボランティアセンター事業

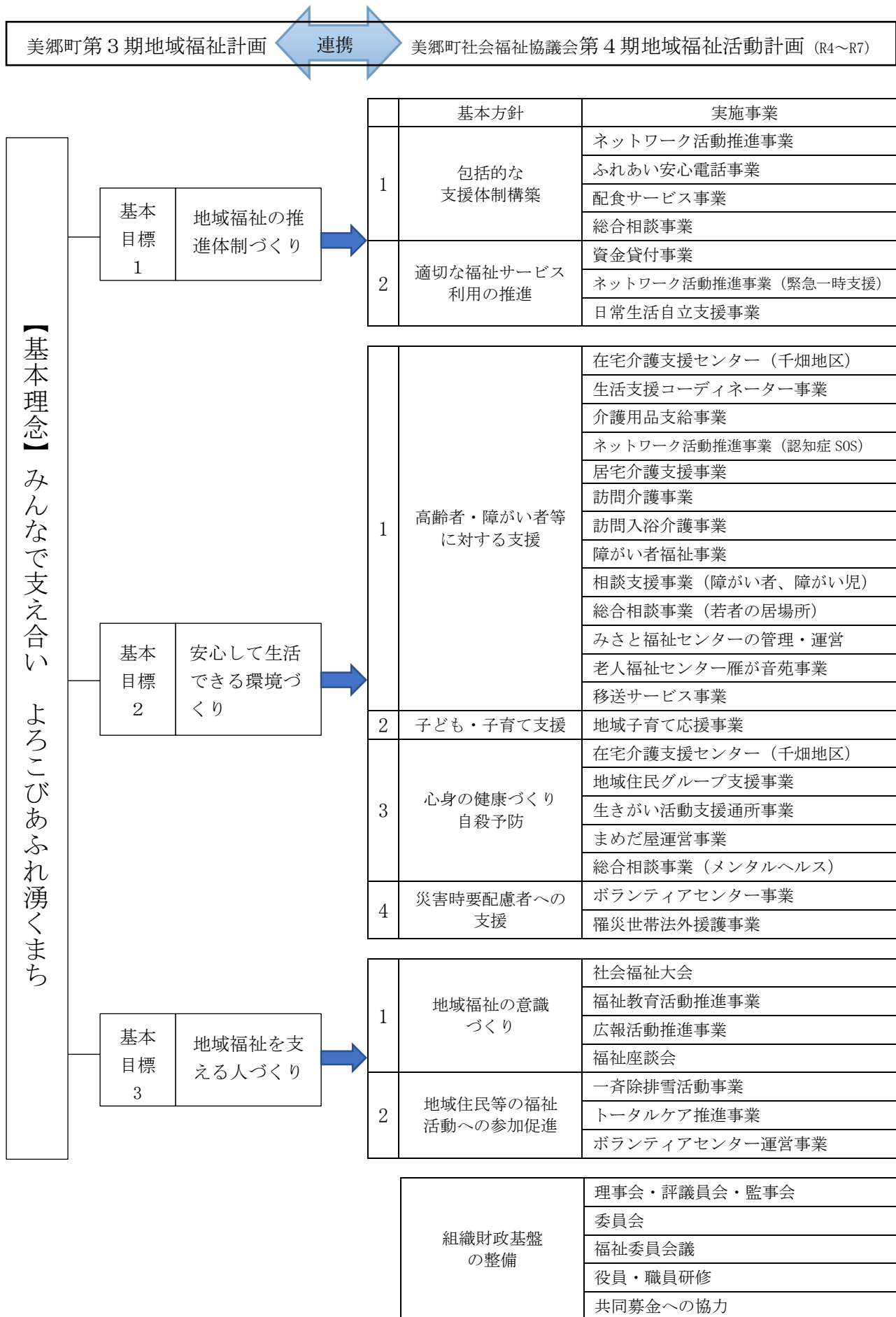
組織財政基盤の整備

- 地域福祉を推進する中核的な組織として、適正な運営により組織経営の強化を図りました。人材確保困難な現状から効率的な業務体制及び部門間の連携強化のため、総務課の福祉課への統合、居宅相談支援班と介護サービス班の統合により2課2班体制とし円滑に業務を遂行しました。

取り組み事業：理事会・評議員会・監事会、委員会、福祉委員会議、役員職員研修、共同募金会事業への協力

次年度も「第4期地域福祉活動計画」による、基本理念・基本目標に沿い、社会福祉協議会が地域福祉の中核的な担い手としての役割・使命を発揮し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底させながら住民主体のまちづくりによる地域福祉の推進を積極的に図っていきます。

2. 地域福祉活動計画事業体系図



3. 令和4年度各事業実施状況

◆地域福祉事業

◇ネットワーク活動推進事業

- 要援護者の早期発見から支援につながる“一人の不幸も見逃さない運動”を推進。民生児童委員や分野を超えた関係機関との連携・調整のもとに、高齢者世帯や支援を必要とする世帯に対する地域の見守り活動等のネットワーク（見守りの網の目）により、地域で自立した生活を支援した。
 - ・毎月地区民協定例会にコミュニティソーシャルワーカーが出席、地域課題の把握と要援護者の情報共有を図った。
 - ・民生児童委員一斉改選により新任民生児童委員と情報共有を図った。
 - ・警察署と認知症や気になる世帯の情報を共有し、訪問活動を行い世帯の支援見守りの強化を図った。
 - ・生活困窮者自立支援調整会議：毎月1回
- 一人暮らし等要援護者世帯調査：民生児童委員の協力を得ながら、要援護者の実態調査及び生活課題（ニーズ）の把握に努め、要援護者台帳のシステム管理を行った。
 - ・一人暮らし等要援護者世帯調査（4月）
 - ・65歳以上一人暮らし世帯：582世帯
 - ・高齢者夫婦世帯：390世帯
 - ・高齢者夫婦以外の高齢者世帯：69世帯
 - ・単身世帯実態調査（通年）
- 防火点検：南消防分署と協働し、単身老人世帯を対象に防火週間に合わせ点検を実施、火災予防に努め安全な暮らしを支援した。また、緊急情報キットの内容更新の呼びかけを行い、緊急時の対応に備えた。
 - ・実施日：4月8日（新型コロナ感染症の影響で中止）
11月8日 ・訪問世帯数：12世帯
- 緊急一時支援事業：新たに町内施設とフードドライブ活動の体制を整備し困窮者への現物支給や緊急貸付等の支援について、行政等の関係機関とネットワーク支援として取り組んだ。
 - ・フードドライブボックス設置個所：5ヶ所
 - ・食糧等支給利用者：10件
 - ・フードバンクあきた利用者：0件 ・コープフードバンク：0件
- 認知症SOSおたすけネットワーク：認知症になっても安心して生活ができるよう関係機関との連携によるセーフティネットワークの体制を継続した。
 - ・事前登録者：12人
 - ・協力企業団体：100件
 - ・捜索発信なし（テスト送信を1回実施）

◇一斉除雪活動事業

○単身老人等を対象に地域の町民、企業、団体、学校の協力を得て一斉除雪を実施、ボランティア活動を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域や家庭において安心して冬の暮らしができるよう支援を図った。

・実施日：1月20日 積雪不足のため中止

2月9日、10日 除雪世帯数：28件 活動者数：116名

※感染予防のため、中学生は不参加。高校生は単独で施設の除雪を予定していたが積雪不足のため中止した。

※感染予防のため、出発式を中止し直接除雪世帯へ各自集合とした。

・一斉除排雪活動事業検討会 11月7日

・JAL地域貢献活動ウインターキャンプ（除雪活動） 2月11日（3世帯）

◇トータルケア推進事業

○トータルケア推進事業で取り組んできた地域福祉活動の事業点検を実施、住民主体の活動を支援、全ての町民が住み慣れた地域において、安全に安心して暮していけるよう地域の福祉力を高め「福祉でまちづくり」に取り組んだ。

・社協サポーター（福祉応援団）の登録：10名

・ワーキンググループの支援：いきいきパソコンクラブ活動 第23回9名、第24回6名

・はと麦ドンボランティア会議：2回

・おたすけマン事業の実施：延べ利用件数22件、おたすけマン登録者数10名

○居場所づくりサポート心結びと「ほとり食堂」にフードドライブの食品提供等で協力し地域の居場所づくり活動を支援した。

○社会福祉法人地域公益活動事業

・町内法人へフードドライブボックス設置 1月11日

・社会福祉法人地域公益活動事業検討会 9月16日

・秋田県地域公益活動連絡会 2月3日

○職員のスキルアップを図るため各種研修会へ参加

・コミュニティーソーシャルワーク実践研究会研修 9月13日、11月29日

・地域福祉推進研修 8月8日～9日

・トータルケア推進会議 12月15日

・コミュニティーソーシャルワーク実践者スキルアップ研修 3月10日

・地域福祉力強化研修 9月21日、22日、29日、30日、11月4日

・県内地域福祉担当職員情報交換会 6月1日、9月27日、12月27日、3月16日

・市町村社協協議会連絡協議会職員研修会 3月16日

◇まめだ屋運営事業

○いつでも利用できる空き店舗活用で、閉じこもり予防、生きがいづくりを推進した。

・利用状況：延べ利用団体156団体 ・延べ利用人数：783名

○まめだ屋を会場にNPO法人KOU、NPO法人まることびおらと共催し「若者の居場所作り事業」を実施。気軽に立ち寄れる若者の居場所作りを支援した：毎月1回

- まめだ屋ボランティア：9名
- 六郷高校生によるボランティア活動：月2回清掃ボランティア
- まめだ屋活動サークルの支援：手芸教室、将棋クラブ、地区ミニデイ等
- 新型コロナウイルス感染予防対策を講じ事業を継続した。

◇総合相談事業

- みさと福祉センターを相談会場とし、町内の相談機関等が連携を図り日常生活や専門的な相談に応じ、町民生活の安定を図った。
- 一般相談：専任相談員6名を委嘱し毎週水曜日開設。(相談件数18件)
- 法律相談：弁護士による専門相談。随時対応。(相談件数3件)
- 特殊詐欺被害防止パンフレット配布による啓発活動。
- 県南若者サポートステーション横手の出張相談をみさと福祉センターを会場に4回開催し、リーフレットを全戸配布し相談機関の周知を図った。
- やすらぎプロジェクト「こころの健康相談サロン」をみさと福祉センターを会場に14回開催。
- 相談機関連携
 - ・大仙美郷地区相談機関等ネットワーク会議 10月17日
 - ・秋田県ひきこもり相談支援連絡協議会 9月12日

◇ボランティアセンター運営事業

- 災害ボランティアセンターとしての機能・機材・災害食の充実を図った。
- 町と災害ボランティアセンター設置運営協定を締結 9月26日
 - ・美郷町総合防災訓練参加 10月6日
- 8月大雨災害による五城目町災害ボランティアセンターへ職員派遣(8月30日～9月5日)を予定するも、8月29日災害ボランティアセンター応援終了となり中止。
- 職員のスキルアップを図るため研修会へ参加
 - ・災害ボランティアフォローアップ研修 10月11日

◇移送サービス事業

- 寝たきり等で、福祉車両でなければ移動できない方へ移送車両を貸出し、通院などの外出支援を図った。
 - ・利用件数：7件

◇地域子育て応援事業

- 社協会費を財源とする子供・子育て関連事業を実施し、若い世代へ社協のPRを図った。
- 町内の小学校に入学する新1年生に学用品を贈り、健やかな成長を見守り応援した。
 - ・学用品贈呈数：令和4年度新1年生 137名
 - ・誕生祝い金：28名

◇日常生活自立支援事業

○「福祉生活サポートセンター」を設置し専門員1名（兼務）を配置。認知症高齢者等判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用についての情報提供、利用のための手続き、料金の支払い等、日常的金銭の管理を行い安心して在宅生活を送れるよう援助し、世帯の支援を図った。

・利用者数：11名 ・延べ相談件数：111件 ・延べ援助回数：156回

○日常生活自立支援事業専門員連絡会議：毎月1回

○日常的金銭管理サービス実施状況調査 8月25日

○専門員研修会への参加

・日常生活自立支援事業専門員研修会 5月27日

・日常生活自立支援事業生活支援員研修会 9月5日

○成年後見制度等に関する会議等への参加

・成年後見制度利用促進実務研修会（体制整備）7月29日

・法人後見受任体制整備研修会 8月31日

・成年後見制度利用促進事業事例検討会 9月21日、11月24日、1月26日

・後見人専任手続き及び後見人専任後の発生しうる問題研修 12月16日

・権利擁護プレ研修 2月8日

・成年後見制度利用促進連携支援会議 2月21日

◇福祉教育活動推進事業

○町内各校のJRC活動を推進、福祉活動への関心を高め児童生徒の福祉意識の高揚を図った。

・福祉教育推進連絡協議会 4月28日

○町内5校（小・中・高）の福祉教育への取り組みへ助成金を交付した。

（仙南・六郷・千畑小学校各10万円、美郷中学校15万円、六郷高校10万円）

・六郷小学校4年生総合学習支援（今の自分たちにできること～福祉について考えよう～疑似体験・車椅子体験）：6月3日

○各学校の福祉養育活動写真を社会福祉大会会場及び町内スーパーに展示した。

○六郷高等学校生徒による地域交流

・暑中見舞い：一人暮らし老人へ

・クリスマスカード：配食サービス利用者へ

・ラベンダーポプリ、お手玉：敬老祝いとして生きがい活動支援通所事業利用者へ

○夏休みサマースクールは新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

◇福祉座談会

○福祉協議会活動に対する理解を深めてもらうとともに、ニーズ把握に努め、地域の問題・課題について住民の共通認識を図った。

・開催期日：6月～10月 6会場（ふれあいサロン実施地区）

・参加者数：68名

◇社会福祉大会

- 大会を通して、社会福祉協議会活動への理解を深め福祉意識の高揚を図った。
新型コロナウイルス対策により参加人数を制限し開催した。

第19回美郷町社会福祉大会 10月13日開催 会場：美郷町公民館 参加者：180名
テーマ：「つながりを力に ～安心・安全な地域 美郷をめざして～」

- ・式典

- ・アトラクション クラシックからジャズまで「みんなで楽しむ演奏会」

- 秋田県社会福祉大会 10月27日開催 会場：あきた芸術劇場ミルハス 参加者：10名
記念講演 「持続可能な地域共生社会の実現に向けて」

慶応義塾大学経済学部 教授 駒村 康平 氏

◇資金貸付事業

- たすけあい資金貸付事業

一時的に資金を必要とする低所得世帯に、小口現金の貸付を行い、民生児童委員と協働で世帯の更生支援を図った。長期滞納者へは8月と3月督促状を発送した。

- ・相談件数：38件

- ・貸付件数：9件

- ・貸付残高3月末現在：162,000円（貸付件数：8件）

- 生活福祉資金貸付事業

秋田県社会福祉協議会より生活福祉資金貸付事業の業務委託を受け、低所得世帯等の資金貸付の相談や申請受付を行い、民生児童委員の協力を得ながら、世帯の更生支援を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯に対応する緊急小口資金貸付、及び総合支援資金貸付の相談と申請の援助を行った。

- ・相談件数：101件（内コロナ関連42件）

- ・申請件数：7件（内コロナ関連6件）

- ・秋田県社協貸付残高3月末現在：12,829,117円

- ・貸付件数：31件

（内コロナ関連25件）

◇罹災世帯法外援護事業

- 火災等の罹災した世帯に見舞金を贈り、世帯更生の一助とし支援を図った。

- ・見舞金交付：火災見舞：4件

◇広報活動推進事業

- 福祉協議会の活動内容、福祉に係る情報を提供し、社協に対する住民理解を深めた。また、朗読ボランティア「ダンボ」の会の協力を得て、視覚障害者へ声の広報を配布した。

- 「福祉だより」第80号、第81号を発行した。

- ホームページによる情報公開。

◇みさと福祉センターの管理・運営

- 地域福祉活動の拠点として、健康・生きがい活動の増進を図り、各種の相談に応ずるとともに生活向上のための便宜等を総合的に提供し、町民の福祉の増進を図った。
 - ・センターの貸出件数：278件
 - ・利用者数：3,470人
- 経年劣化による設備の修理等により施設の安全に努めた。(修理箇所：高圧ケーブル交換)
- 災害備蓄用品等を備え、避難所としての機能を整備した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じた上での利用とした。

◆受託事業

◇在宅介護支援センター（千畑地区）

- 身近な相談窓口として、在宅において介護が必要な方に介護に関する相談や情報提供を行いサービスの提供へつなぎ支援した。電話による相談受付は24時間体制をとり、問題解決に向けて関係機関との連携を図った。
 - ・相談件数：1,693回
- 地域の会館等で介護教室等を開催し、介護予防に努め高齢者の自立した生活を支援した。
 - ・転倒予防教室：9回
 - ・健康講話：1回
 - ・介護教室：9回
- ケア会議の開催など地域包括支援センターや福祉保健課等と相談対応の連携と情報共有を図り、多職種連携による地域の問題解決の向上を図った。
 - ・地域ケア連絡会：6回
 - ・地域ケア会議：6回（自立支援型地域ケア会議：3回）
- 認知症カフェ「オレンジカフェせんはた堂」：認知症について心配なことを気軽に話し合える場として、認知症カフェを開催し当事者、家族への支援を行った。
 - ・実施日：7月28日、12月23日、3月3日

◇老人福祉センター「雁が音苑」事業

- 高齢者の健康を増進し、教養を高め高齢者ができる限り介護者状態に陥ることなく健康で生き生きとした生きがい活動のための便宜を総合的に供与し、老人福祉の増進を図った。
 - ・貸出利用件数：0件
- 老人福祉センターを会場とした生きがい活動支援通所事業（仙南地区）の実施。

◇生きがい活動支援通所事業

- おおむね65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない方を対象として、通所により各種サービスを提供し社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図り、要介護状態への進行を予防した。
 - ・利用者数（3月末現在）：44名（みさと福祉センター：21名、雁が音苑：23名）
 - ・延べ利用人数：2,027名（みさと福祉センター：949名、雁が音苑：1,078名）
- 経年劣化による昇温ポンプ、塩素注入装置等の故障については、町委託金により修理することができ安全に業務を遂行した。

- 利用者の減少により実施体制の見通しの検討を行い10月より、みさと福祉センターで水、木、金、雁が音苑で火、水、木と利用日を変更した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し事業を継続し介護予防に努めた。

◇配食サービス事業

- 65歳以上の高齢者世帯等で、高齢、心身の障害、傷病等により調理が困難な方に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認等の見守り活動を推進した。
 - ・実施曜日：千畑（火・金曜日）、六郷（水・金曜日）、仙南（火・木曜日）
 - ・利用者数（3月末現在）：89名、延べ配食弁当個数：9,738食
- 調理業者は業者委託であるが利用者の声や食材について、業者と情報共有し内容の充実につとめた。
- 配達時に利用者への見守り、声かけの強化を図った。

◇ふれあい安心電話事業

- 65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、障害者世帯等に対し、あんしん電話を貸し出し不慮の事故や災害に備えた。
- 24時間体制での相談支援や必要に応じ消防署・緊急協力員と連携し、緊急システムの整備を図り、世帯の安心安全な生活を支援した。
 - ・設置台数（3月末現在）：80台　　・通報件数：263件
 - ・新規取付：6台　　・取り外し：18台
 - ・保守点検及びテスト通報：8月5日～8月24日
- 受信センター移行に伴う対応について、受信委託業者と協議を行う：11月29日

◇地域住民グループ支援事業

- 町内会館等を利用し、地域のボランティアが自主的に運営する「ふれあいいきいきサロン」を支援し、高齢者の生きがいづくりや孤独感の解消を図った。実施地区1か所につき活動助成金20,000円を交付した。
- サロンを年間12回以上開催している地区には、11月の中間報告で確認し特別加算活動助成金20,000円を交付した。
 - ・サロン実施地区：32か所　　・特別加算活動助成地区：11か所
- 脳トレやゲーム等レクリエーション用具の貸出や職員訪問を行い活動を支援した。
 - ・職員訪問サロン：13か所　　・用具貸出：8か所

◇介護用品支給事業

- 在宅の要介護度4・5または特別障害者・障害児童福祉手当が支給されている方を介護している家族に対し、紙おむつ等を支給し、寝たきり者の衛生保持及び在宅介護の支援を図った。
 - ・延べ支給人数：419名

◇生活支援コーディネーター事業

- 生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築のため、アウトリーチを行いながら地域生活課題の把握に取り組み、多様な事業主体との地域たすけあいの安心生活の構築を目指した。
- 地域の気付きやつながり強化に向け、老人クラブやJ A女性部と連携して地域サロン座談会でのニーズ把握及び、ふれあいサロン未実施地区の開催調整を行った。
- 「おたすけ便利手帳」の発行（掲載商店70店舗）
- 関係機関連携、スキルアップ向上を図るため各種会議研修会に参加した。
 - ・子ども支援ネットワーク連絡会議 9月14日
 - ・美郷町生活支援整備協議体会議 5月26日、1月27日、3月9日
 - ・生活支援コーディネーターに関わる研修 10回
 - ・生活支援コーディネーター情報交換会 7月15日、2月17日
 - ・生活支援体制整備に関する制度研修 8月25日
 - ・重層的支援体制整備事業研修会 7月25日
 - ・重層的支援体制整備事業意見交換会 1月20日

◆介護等サービス事業

◇居宅介護支援事業

- 利用者が有する能力に応じ、利用者に適切なサービスを提供する居宅サービス計画及び介護予防計画を作成し、在宅生活が継続できるよう支援を図った。
- 携帯電話を利用した24時間連絡体制を取り、利用者の相談等に対応し支援を図った。
- 介護保険事務所との委託契約により要介護認定調査を実施した。
 - ・居宅サービス計画作成延べ件数：1,448件
利用者数（3月末現在）：114名
 - ・介護予防プラン作成延べ件数：680件
（予防プラン393件、予防ケアマネジメント287件、短期集中0件）
利用者数（3月末現在）：52名（予防プラン30名、予防ケアマネジメント22名）
 - ・認定調査件数：37件
- 新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。
- 適切なサービスを提供するため成年後見制度や多職種連携等の研修会に参加し職員のスキルアップを図った。
 - ・主任介護支援専門員研修 10日間
 - ・認定調査員研修 4月26日、10月20日
 - ・自立支援型地域ケア介護実践研修 10月28日、11月26日
 - ・介護支援専門員実践力向上研修 11月14日
 - ・相談援助従事者研修 11月29日
 - ・医療介護多職種連携研修会 3月24日
- 介護支援専門員実務研修実習生受入1名 1月24日～26日

○実地指導・集団指導

- ・居宅介護支援事業実地指導 6月14日
- ・居宅介護支援事業集団指導 3月13日

◇訪問介護事業

○要支援・要介護状態の高齢者に対し身体介護や生活支援の訪問介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援を図った。

- ・利用者数（3月末現在）：23名（介護13名、総合10名）
- ・延べ利用回数：3,398回（介護2,779回、総合619回）

○実習生の受け入れ：六郷高等学校

○新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。

○適切なサービスを提供するため、自主研修の開催や訪問介護員等研修会に参加し職員のスキルアップを図った。

- ・訪問介護員人材育成研修 9月29日、10月18日、11月1日

◇訪問入浴介護事業

○自宅浴槽での入浴が困難な要支援・要介護状態にある高齢者等に対し、簡易浴槽を自宅に持ち込み訪問入浴介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう身体の衛生保持及び世帯の支援を図った。

- ・利用者数（3月末現在）：6名
- ・延べ利用回数：333回

○新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。

○適切なサービスを提供するため看護実務等研修会に参加し職員のスキルアップを図った。

- ・訪問入浴介護オンラインセミナー 6月17日
- ・看護職員研修 9月13日、11月15日～16日
- ・医療介護従事者研修 3月7日

○訪問入浴実習（六郷高校福祉科）3月14日

◇障がい者福祉事業

○生活支援ホームヘルプサービス事業：65歳以上の自立高齢者を対象に家事援助・日常生活に関する支援を提供する。

- ・利用者：なし

○障害者自立支援事業：利用者の立場に立った適切な居宅サービスを提供、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護・家事援助・同行援護サービスにより支援を図った。

- ・利用者 居宅介護：利用者数（3月末現在）3名（延べ利用回数324回）
- 同行援護：利用者数（3月末現在）1名（延べ利用回数56回）
- 身体障害者入浴介護：利用者数（3月末現在）3名（延べ利用回数234回）

○新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。

○適切なサービスを提供するため訪問介護員等研修会に参加し職員のスキルアップを図った。

- ・訪問介護員人材養成研修 9月29日、10月18日、11月1日
 - 虐待防止委員会・身体拘束適正化準備委員会にて、今後の方針について検討すると共に指針を作成した。2月22日、3月13日
 - 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を開催 3月28日
- ◇相談支援事業（障がい者、障がい児）
- 障害者総合支援法と児童福祉法の理念に基づき、利用者及び保護者の意思を尊重し、利用者等の立場に立った相談及び援助を行った。
 - ・特定相談支援：利用者数（3月末現在）12名（延べ計画作成件数131件）
 - ・障害児相談支援：利用なし
 - 新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。
 - 適切なサービスを提供するため研修会に参加し職員のスキルアップを図った。
 - ・秋田県地域福祉支援検討会 12月20日
 - ・更生保護制度研修 2月17日
 - 虐待防止委員会・身体拘束適正化準備委員会にて、今後の方針について検討すると共に指針を作成した。2月22日、3月13日
 - 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を開催 3月28日

◆法人運営事業

◇理事会・評議員会・監事会

- 法人の方針や事業内容等を理事会評議員会において検討協議し福祉協議会の健全な運営に努めた。
- 理事会の開催
 - 第1回 6月7日
 - 議案第1号 令和3年度事業報告について
 - 議案第2号 令和3年度社会福祉協議会会計収支決算について
 - 議案第3号 令和4年度社会福祉協議会資金収支補正予算（第1回）について
 - 議案第4号 定時評議員会（第1回評議員会）の開催について
 - 議案第5号 評議員選任解任委員会委員の選任について
 - 議案第6号 正職員の募集について
 - 報告事項1 事務局体制について
 - 報告事項2 第4期地域福祉活動計画の策定について

第2回 8月23日

- 議案第7号 第19回美郷町社会福祉大会について
- 議案第8号 居宅介護支援事業運営規程の一部改正について
- 議案第9号 第2回評議員会の開催について
- 報告事項1 正職員採用試験の結果について

- 報告事項2 一般事業主行動計画について
- 報告事項3 会長職務執行状況報告について

第3回 3月20日

- 議案第10号 育児・介護休業等に関する規則の一部変更について
- 議案第11号 居宅生活支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第12号 指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第13号 たすけあい資金貸付金未償還金の欠損処理について
- 議案第14号 令和4年度社会福祉協議会資金収支補正予算（案）（第2回）について
- 議案第15号 令和5年度事業計画（案）について
- 議案第16号 令和5年度社会福祉協議会資金収支予算（案）について
- 議案第17号 第3回評議員会の開催について
- 報告事項1 固定資産（公用車）売払いについて
- 報告事項2 中間監査について
- 報告事項3 社会福祉法人指導監査の報告について
- 報告事項4 虐待防止、身体拘束等の適正化のための指針について
- 報告事項5 美郷町社会福祉協議会正職員採用の報告について
- 報告事項6 会長職務執行状況報告について

○評議員会の開催

第1回 6月27日

- 議案第1号 令和3年度事業報告について
- 議案第2号 令和3年度社会福祉協議会会計収支決算について
- 議案第3号 令和4年度社会福祉協議会資金収支補正予算（第1回）について
- 報告事項1 事務局体制について
- 報告事項2 第4期地域福祉活動計画の策定について

第2回 8月24日（決議の省略により承認）

- 議案第4号 居宅介護支援事業運営規程の一部改正について

第3回 3月20日

- 議案第5号 令和4年度社会福祉協議会資金収支補正予算（第2回）（案）について
- 議案第6号 令和5年度事業計画（案）について
- 議案第7号 令和5年度社会福祉協議会資金収支予算（案）について
- 議案第8号 居宅生活支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第9号 指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業運営規程の一部変更について
- 報告事項1 育児・介護休業等に関する規則の一部変更について
- 報告事項2 虐待防止、身体拘束等の適正化のための指針について

報告事項3 美郷町社会福祉協議会正職員採用の報告について

報告事項4 令和4年度事業実施状況について

○監事会の開催

第1回 5月27日（年度末監査）

令和3年度美郷町社会福祉協議会会計監査〔事業報告および決算等〕

第2回 11月21日（中間監査）

令和4年度美郷町社会福祉協議会会計監査

〔9月末現在事業報告および予算執行状況等〕

○正副会長会議の開催

第1回 4月11日

案件 1) 職員体制について

第2回 6月1日

案件 1) 今年度事業の実施について

2) 第1回理事会の開催について

3) 定時評議員会の開催について

4) 正職員の募集について

5) 美郷町共同募金委員会の開催について

第3回 8月8日

案件 1) 社協財政状況について

2) 職員採用について

3) 第19回社会福祉大会の開催について

4) 第2回理事会・評議員会の開催について

5) 美郷町共同募金会運営委員会の開催について

第4回 11月30日

案件 1) 正職員採用試験について

2) バス処分について

3) 社協財政状況

第5回 2月28日

案件 1) 令和4年度業務・財政状況について

2) 令和5年度事業概要について

3) 令和5年度予算概要について

4) 諸規程の変更について

5) 理事会・評議員会の開催について

◇役員・職員研修

○役員・職員の資質向上と組織強化、適切な福祉サービスの提供を目指し、各種研修へ参加した。新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑えるためにリモート研修体制整備を行い、各研修リモート研修に参加した。

*役員研修

- ・社会福祉法人監事研修 11月15日

*新任研修

- ・ビジネスマナー向上研修 5月26日
- ・災害ボランティアコーディネーター養成研修（基礎編・応用編）4日間
- ・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修（基礎編・応用編）4日間

*キャリアアップ実務研修

- ・OJTリーダー研修 10月14日
- ・クレーム対応研修 11月28日
- ・リスクマネジメント研修 12月9日
- ・福祉サービスに係る苦情研修会（初級編・上級編）2日間

*労務管理

- ・メンタルヘルス基礎研修 8月29日
- ・ハラスメント防止対策研修 10月11日
- ・労務管理等研修（労働基準法、労務管理）

*その他

- ・社会福祉法人会計決算実務者研修会 2月24日

◇委員会

○委員会（総務運営、事業推進）専門委員会（苦情解決委員会、生活福祉資金調査委員会・たすけあい資金運営委員会）により、社会福祉協議会の事業の進捗状況や課題等について健全な運営に努めた。

○事業推進委員会 8月23日

- 案件 1) 第19回美郷町社会福祉大会について
2) 令和4年度美郷町社会福祉協議会表彰候補者（案）について

○総務運営委員会 3月6日

- 案件 1) 令和5年度事業の概要について
・令和4年度事業点検について
・令和5年度事業計画素案について
2) 令和5年度予算概要について

○苦情解決委員会 7月11日

- 案件 1) 委員長の互選
2) 苦情受付の確認について
・令和3年8月～令和4年6月までの苦情等について

令和4年度苦情申立 なし

○資金貸付委員会

- ・生活福祉資金調査委員会 6月10日
案件 1) 生活福祉資金(福祉資金福祉費・総合支援資金一時生活再建費)貸付申込について
- ・たすけあい資金運営委員会並びに生活福祉資金調査委員会 2月28日
案件 1) 委員長の互選
2) たすけあい資金・生活福祉資金状況について
3) たすけあい資金長期滞納者の取扱いについて

◇福祉委員会議

- 社協事業への理解を深め、福祉委員の意識高揚を高め地域福祉活動の充実を図った。
- 福祉委員会議の開催
・千畑：6月27日、六郷：6月23日、仙南：6月24日

◇その他

- 組織体制の見直し
総務課の福祉課への統合、居宅相談支援班と介護サービス班の統合により福祉課福祉班、介護事業所介護事業班の2課2班体制とした。
- 一般事業主行動計画の策定(計画期間：令和4年10月1日～令和8年3月31日)
- 社会福祉法人指導監査 2月21日
- 障害者総合支援法改正により虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を開催し、指針を作成した。

◇共同募金事業への協力

- 共同募金会事業への協力
・令和4年度募金総額：6,872,761円 達成率：100.1%
- 赤い羽根募金百貨店プロジェクト、赤い羽根自動販売機の設置への協力
・赤い羽根募金百貨店：2社、赤い羽根自動販売機設置：3台
- 運営委員会等の開催
・運営委員会：2回 ・監事会：1回 ・審査委員会：1回
・奉仕員会議(感染予防のため資料配布のみ)
- 第145回秋田県種苗交換会にて街頭募金を行った 10月29日、11月2日
- 会議・研修
・赤い羽根全国ミーティング参加 7月5日～6日
・赤い羽根募金運動推進会議参加 8月17日
・10月1日 赤い羽根募金運動開始式は新型コロナウイルス感染症の影響で中止